

.....
Q&A 携挙のタイミング・詩編83編

みなさんをお願いします。どうか、私の言葉を鵜呑みにせず、ベレヤ人のように、ご自分でも聖書を調べてください（使徒行伝17章）。今日は、私がなぜそのように信じているのか説明し、その理由となる聖書箇所を提示します。私自身も調べていますから、みなさんにも同じことが出来るのです。事実、私たちがベレヤ人のようになって、日々聖書を調べ、聞いたことが事実かどうか、自分で確かめるようにと命じられています。

携挙のタイミングと、イザヤ17章、エゼキエル38章の関係についての質問についてお話しします。

“ダマスコに対する宣告。見よ。ダマスコは取り去られて町で無くなり、廃墟となる。”
(イザヤ17:1)

ダマスカスはシリアの首都です。それからエゼキエル38章は、ロシア、イラン、トルコ、その他の国々の連合軍についてです。この質問にさらに神殿の再建との関連も付け加えたいと思います。

『これらは、携挙の前に起こるべき事なのか？』

答えは『NO』です。どれ一つとして、携挙の前に起こる必要はありません。ただ、

『イザヤ書17章は、携挙の前に起こり得るか？』

『あり得ます』

『起こらなければならないか？』

『いいえ』

私は、これが先に起こると思うか？ 分かりません。これと呼応して起こる事もあり得ます。突如の滅びです（第一テサロニケ5:3）。覚えていますか？ダマスカスの地下に、大量破壊兵器が隠されているのです。そして、イスラエルは今でさえ、それらの所在を把握していて、そこを攻撃している。これだけでも、こんな言葉を使って申し訳ないですが、ここに“HELL（地獄）”がもたらされる十分な理由にはなりませんか？あり得ます。これが、“突如の滅び”になる事は、あり得ます。そして、イザヤ17章が起爆剤になる事もあり得る。また、イザヤ17章が、エゼキエル38章の前に起こるべきだと、私が考える理由は簡単です。エゼキエル38章に、シリアが出て来ないからです。エゼキエル38章の前に、シリアに何かが起こらなければならない。エゼキエル38章の同盟国に、シリアは入っていませんから。だから、イザヤ17章はエゼキエル38章の同盟国に、シリアが入っていない理由を説明していると、私は思います。そして現在シリアで起こっている事は、イザヤ17章は、いつ成就されてもおかしくないと思います。私は、この預言は成就寸前だと思います。そしてもし、これが起爆剤なら…私はそうだと思っていますが、なぜかと言えば、そこは、北はロシアやイランからの連結部分、中枢で、彼らはすでにそこに来ています。ロシアもイランも、すでにシリアに入っています。イランはヒズボラを介

してずっとそこに居り、それからロシアもすでに居る。これはまるで、時間の問題だと思います。

次に、私は、エゼキエル38章が携挙の前に起こるとは思いません。エゼキエル38章は、携挙の後に起こるべきだと私は考えます。これは難しいですが。何年も前、“The Berean Call”の Dave Hunr 氏と週末を一緒に過ごす機会に恵まれました。彼も今は、天に召されましたが。私が本土に居た時に、彼を講演にお招きして、その時、彼にたくさんの事を質問したのです。これに関しても、何度もやり取りをして、最終的に、お互いの意見が違うという事で同意したのですが。彼は、エゼキエル38の戦争が、7年の大患難の始めだとは、見ていませんでした。事実、彼はハルマゲドンの戦いと、ゴグの戦いは同意語だと信じていました。また彼は、なぜそう思うのかも説明してくれましたが、私はただ、敬意を示しつつ、違うと思います。私は、エゼキエル戦争は、携挙の直後か、もしくはこれもまた、携挙と呼応して起こると思っています。先ほども言った、“突如としての滅び”です。

私がこういう理由は、エゼキエル38章の詳細が根拠で、イスラエルが“城壁”も“かんぬき”も“門”も取り除けるには、何かが起こらなければならない。これには、反対意見がある事も分かっています。しかし私は、これは2,000年のインティファダの後に建てられた文字通りの“壁”だと思っています。以前、私たちと一緒にイスラエルに行った人は、覚えているでしょうか。ベツレヘムにあった、巨大な壁、かんぬきも門もありました。これは、エゼキエル38章に書かれている詳細で、だから、彼らはこのかんぬきや、紋屋、壁を取り除くのです。

それから神殿もまた再建されると、私は思います。イスラエルが壁を取り除くほどに、安全だと感じながら生活し、それから、神殿の再建となれば、私はダニエル9:27だと思います。ダニエル9:27を簡単に伝えと、多くの国との7年の和平同意を結ぶことが強要されると言う預言です。それが、イスラエルに強制されるのです。これは、現在私たちが目撃している、地政治的に起こっている事とぴったり合致しませんか？世界舞台で。だから、イスラエルは、平和の為ならどんな事でもするのです。いいですか？「もし、神殿を建てさせてくれるなら、エルサレムの一部を渡しても良い。」「神殿だけは、私たちに下さい」。そして彼らは、「はあ…ようやく…」「今では、ダマスカスも廃墟となった。」とようやく安全に暮らすようになる。その時に、エゼキエル38章が成就されるのだと、私は思います。

ところで、ダニエル9:27の、強制的な7年間の和平同意は、ダニエルの70週目で、7年の大患難です。それがダニエルの70週目です。すべての事が絡み合って、どれ程まとまりつつあるか分かりますか？

もう一つの質問はこれです。詩編83編の預言は、まだ成就されていないと思うか？

正直に言えば、私は詩編83編をまだ再考しています。まだ、完全には成就されておらず、時間の経過と共に成就されるという見方にも、一理あると思うのです。よく考えてみてください。1948年5月以来、さらにいうなら、1967年6月、人々や国々が、イスラエルを地図の上から消してしまおうと躍起になって、それは今現在でも変わりません。そして、エゼキエル38章を見れば、これらの（詩編83編）の国々は、同盟国のリストに入っていない。エジプトも、ヨルダンも、イラクも、シリアも。エジプトとヨルダンは、イスラエルと平和条約を結びました。彼らは、詩編83編の国々です。彼らは、

ハガルの子孫、ハガル人と、イシュマエルの子孫、イシュマエル人です。ちなみにこれらは違う人種です。これがエジプトです。そして、エドムとありますが、エドム人はヨルダンです。モアブ人もヨルダン。彼らは、エゼキエル38章には出てきません。なので、なぜ彼らが出てこないのか、ここで理由が分かります。

※聖書箇所

第一テサロニケ5:3

“人々が「平和だ」「安全だ」と言っているそのようなときに、突如として滅びが彼らに襲いかかります。ちょうど妊婦の産みの苦しみが臨むようなもので、それをのがれることは決してできません。”

エゼキエル38:11

“こう言おう。『私は城壁のない町々の国に攻め上り、安心して住んでいる平和な国に侵入しよう。彼らはみな、城壁もかんぬきも門もないところに住んでいる。』”

詩編83:4

“彼らは言っています。「さあ、彼らの国を消し去って、イスラエルの名がもはや覚えられなようにしよう。」”

ダニエル9:27

“彼は一週の間、多くの者と堅い契約を結び、半週の間、いけにえとささげ物とをやめさせる。荒らす忌むべき者が翼に現れる。ついに定められた絶滅が、荒らすものの上にふりかかる。”

このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」

ヘブル4:7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by まい